

事業所名 グループホーム六じょうや

運営推進会議開催報告書

開催日時 令和5年12月21日(木)		
参加者(人数)		議 題
利用者	0名	1 六じょうや基本理念・目指す場所
利用者家族	2名	2 入居者情報
地域住民の代表者	0名	3 利用者の医療看護の状況
市職員	1名	4 行事報告 実績写真添付
地域包括支援センター職員	1名	5 身体拘束廃止委員会
見識者	0名	6 今後の事業計画
事業所	3名	
会 議 録		
<p>2 入居者要介護度の状況、平均年齢、平均介護度、年齢別介護度、面会者数などについて前回との変化を報告しました。</p> <p>3 入居者の医療看護の状況(R5.10.26~R5.12.20の期間)を報告しました。 〔利用者の転帰状況〕 〔入居者の看護、介護の状況〕 〔利用者の健康教室開催状況〕 講師矢萩看護師</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月 インフルエンザワクチンについて 12月 床ジラミの流行 寒暖差が及ぼす健康障害(アレルギー、高血圧)について <p>入居者参加と職員参加で一緒に勉強しています。(別々に参加)</p> <p>4 主な行事報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紅葉ツアー ・クリスマス会 <p>各行事の楽しさを説明し、写真を添付してご家族にも知って頂きました。</p> <p>5 身体拘束廃止委員会</p> <p>認知症の方は時々錯誤があり、自分の家にもここは自宅じゃない帰ると言っ出て行こうとされることがあります。そういう場合に、自宅の玄関に外から鍵をかける方もいらっしゃいます。これは身体拘束にあたるのでしょうか。施設と自宅では身体拘束の規定はちがうのでしょうか。</p>		

(社協職員) リスクが伴うために家族の同意があればいいのではないか。
人間らしい生活があるのかないのかも決め手ではないか。
地域で安心して徘徊できる所ならいいが、今は無理だと思う。

(瀬戸市職員) 自宅でも身体拘束にあたると思う。

(職員) 身体拘束イコール虐待ではないという言葉が、そうかと思った。

(職員) どうなってもいいやという家族のあきらめもあるのではないか。

(その他の意見)

特になし

6 今後の事業計画

- ・今期を振り返って
- ・職員の定着について
- ・今後の主な行事について
 - ・12月 年賀状制作 ミニ生け花 紅白を見る会
 - ・1月新年祝賀式 書初め 正月遊び
- ・入居者状況

・次回運営推進会議 2024年 2月 22日(木)

(新型コロナウイルスにより集会が無理な場合は資料をお届けし、ご意見をお待ちしています)。